



特定非営利活動法人トンネル工学研究会

Research Group for Tunnel Engineering

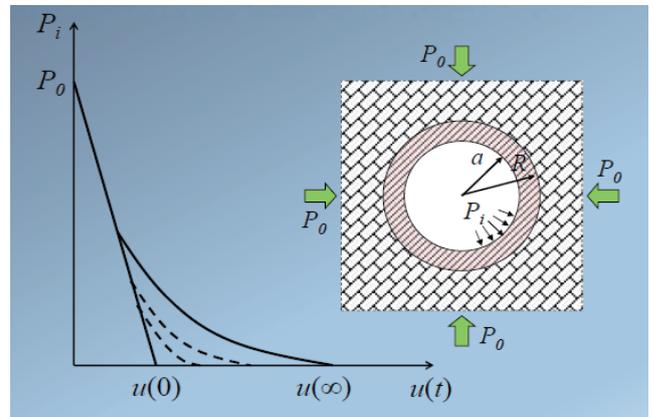
トンネル工学研究会は、トンネルに代表される地中構造物の建設のための設計、施工技術老朽化した地中構造物の健全度評価、寿命予測、長寿命化などの保全技術、さらには耐震性能の評価法に関する研究を通じて、トンネル工学の発展に寄与するとともに、国および地域社会の持続的発展に貢献することを目的としています。

建設工学は、国家形成の根幹をなす社会基盤を整備するものであり、一般社会と密接な関係を持つ分野であるにも係わらず、その認識が低いのが実情です。とくにトンネルなどの地中構造物は、地盤に関する未解決な事項が多く専門的な分野として取り扱われ、現状では一般社会

における認識が低いと言わざるを得ません。専門技術の面においても、トンネルの設計や施工、維持管理における技術は、科学的に体系化されていない部分も多く残されています。

このため、トンネルに係る技術は、経験工学と称され、各々の技術者が積み重ねた経験に依存しているのが現状です。

そこで、トンネル工学研究会では、一般の人々と専門技術者を結ぶ持続可能な組織として、以下のような事業を中心に据えた活動を実施していきます。



NPO法人 トンネル工学研究会は、前述した課題解決のために、以下のような事業を中心に据えた研究活動を行うものです。

情報発信

トンネル・地中構造物分野に関する体系的な研究開発を支援するとともに、情報の一元的な収集、整理を行い、情報発信を行う。



公開講座

建設分野に関する認知度を高め、くわえて裾野を広げるため、一般の人々、小中学生などに対する公開講座・出張講座を主催、あるいは講師派遣などを行う。



技術者育成

建既設のトンネルや地中構造物の健全度評価、寿命予測に対する支援並びに維持管理技術者の育成に関する支援活動を行う。



特定非営利活動法人トンネル工学研究会

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町2-5-5 神田駅前SKビル7階

TEL:03-5295-0103 MAIL:jimukyoku@tunnel-eng.or.jp

理事長 朝倉 俊弘

京都大学名誉教授（工学博士）



<http://www.tunnel-eng.or.jp/>